

総会2年ぶり開催!ハイブリッドで 7/2会場人数縮小、オンラインは上限なし

静中・静高 関東同窓会 会報

未来への道筋

世界中を揺るがしている新型コロナウイルス感染は1年半近く経っても終息にはほど遠い状況です。日本でもなお「with コロナ」の対応を余儀なくされていますが、センバツ甲子園野球や各種イベントが再開されるなど明るい兆しも見え始めています。静中・静高関東同窓会は、昨年7月の総会・懇親会中止に追い込まれましたが、今年には総会・講演会を2年ぶりに開催いたします(懇親会は見送ります)。同窓生の絆を結ぶステージとして、時代に伴走しつつ、日本プレスセンター会場リアルご参加とオンライン(Noom)ご参加の両方から選択できるハイブリッド方式で開催いたします。このチャレンジが来年度以降の新しい総会の形の試金石となれば幸いです。

リアル会場は通常の広い10階ホールを使用、安心安全を確保し三密を避けるため上限を設けさせていただきます。オンラインご参加については上限はありませんので、これまで総会に参加されたことのない若い世代の方々もどうぞ奮ってご参加ください。ご参加方法は3頁をご参照ください。

総会では、佐野倫氏(98期)による講演「おもロシア、おそロシア」のほか、夏の高校野球大会に向けての戦力分析なども予定しています。校歌や道遥歌も音声をバックに「ロパク」で歌いたいと思います。こうした中、会報は同窓生を結ぶ貴重なツールとなります。今号も多くの原稿や写真を寄稿していただき、余儀なくされている方も多いと思いますので、今号は「世界の旅」を特集しました。同窓生による地球漫歩をお楽しみください。

静中・静高関東同窓会
会報 第91号
2021年5月20日発行
編集人 八牧浩行
(82期)



目次

2頁	会長挨拶、オンライン化PJ発足 日下淳(92期)
3頁	議案主旨・総会参加申込み方法
4頁	規約改正案・20年度決算・21年度予算案等
9頁	特集「世界の旅」
13頁	わたしと俳句「校閲の式神」 95期3氏
14頁	「静中生がいた日々」 浦田彰(71期)
15頁	岳南球友会「新しい夏に」 松永啓(94期)
16頁	「美学による課題解決」 高田彩実(120期)
17頁	「東日本大震災から10年」 寺井良夫(92期)

特集

世界の旅

「おもロシア、おそロシア」
講演ご挨拶(2頁)
佐野倫(98期)

イラン人の今昔
大村多聞(82期)

美しいスリランカの旅
松村淳子(88期)

大自然に触れて「香港再発見」
小野尚美(98期)

私と音楽の関わり
フィレンツェ在住
高塚昭男(77期)

小さな旅の物語 イタリア
栗田収司(77期)

赤道直下のアフリカで九死に一生
八牧浩行(82期)

会場案内図



最寄り駅「内幸町」・「霞ヶ関」・JR「新橋」

◆講演

総会終了次第 ◆講演者 佐野倫(98期) 表題「おもロシア、おそロシア」

◆議題

一号議案 規約改正
二号議案 2020年度事業報告・決算報告・監査報告
三号議案 2021年度事業計画・予算案
四号議案 役員補充の件

◆日時

令和3年7月2日(金)午後6時より(開場は午後5時から)
◆会場 日本プレスセンタービル10階ホール 東京都千代田区内幸町二二二
・入館時と総会受付にて二重の確認手続きがあります。お時間の余裕を持ってお越しください。
・議案資料(本会報)と、事前にお配りする「健康自己申告票」をご持参ください。

◆会費 無料

新しい総会の姿を求めて

会長 84期 杉山 順一

昨年の総会は突然のコロナ禍の為、従来の形で皆様にお集まり頂く事が出来ませんでした。それは毎年恒例の同窓会行事が初めてそれを許さない社会状況に直面した場面でもありました。

そうした中、「コロナ禍とはいえ次年度こそ総会・講演会の実施を」を念頭に、数々の検討を重ねて参りました。それが今回の【ハイブリッド型縮小総会・講演会】であり、「日比谷プレスセンターにお集まり頂ける皆様」と、「リモートご参加可能な皆様」による

コロナ禍下での新しい姿です。

とは言えお集まり頂く皆様には会場での一定の距離を保つ着席となり人数制限をせざるを得ず真に心苦しい会場設営となりますが、どうかご寛容頂ければと思います。

また一方、リモート系では今般立ち上げましたオンライン化PJを中心に渾身のご尽力でリアルリモートのハイブリッド型総会講演会の準備を進めておりますので、どうか事情ご賢察の上、当日は皆様方の一層のご支援、ご後援をお願い申し上げます。

近い将来再び「肩を組んで逍遙歌」が唱えまです日が一日も早く参ります事を祈念致して巻頭のご挨拶とさせていただきます。

講演予告

「おもロシア、おそロシア」

講演者 98期 佐野 倫



【講演の時代背景】

今回私がお話するのは、主に1990年代後半のロシア社会についてです。結婚して間もない頃、業務上ロシア出張の機会が増え、引き続きモスクワの駐在員事務所

に赴任しておりました。ソ連邦の崩壊が1991年の末、プーチン大統領の登場が2000年初めですので、その間の話になります。

皆様は、そもそもロシアなど行ったこともないという方が多いのではないかと思います。百聞は一見に如かず。一外国人、一市民の視点から、私がいかに経験したことを中心にお話します。



外から見えるロシア。さて、中は？

【おもしろい人たち】

歴史を紐解きますと、ロシアがアジア方面に積極的に展開してきた18世紀以降、日本はこの隣国から常にプレッシャーを受けてきました。特に同じ隣国の大國

ポストコロナを見据え

オンラインチーム発足

92期 日下 淳

新型コロナウイルスで多人数の集まりが制約される中、同窓会活動の維持・発展のカギを握るのがオンラインの活用。その具体的な進め方をどうするか。杉山会長の下、プロジェクトチームが設置され、2021年度総会の進め方や、その先をにらんだオンライン化推進について協議した。

チームは副会長や理事、幹事期代表・講演者をメンバーに昨年末から議論を重ね、随時、正副会長や理事会に報告された。

テーマの一つが総会の「ハイブリッド化」。理事会などの議論で、今回の総会は実会合とオンラインの組み合わせを目指す方向になった。それを実現するためには、技術的にどんな準備が必要か？

議論では、機能や使い勝手、安全性、コスト、予想外の事態への対応などが焦点になった。Web会議にはZoom、マイクロソフトTeamsなど様々なサービスがあるが、表示や機能など微妙に異なる。

総会に様々な同窓会員が参加することを考えれば「使い勝手」は極めて重要だ。参加者が使用するパソコンやスマホは機種も違

えば通信環境も異なる。機種により映し出される画面上のデザインも変わる。「繋がらない」場合にはどんな対応ができるのか。

あれこれ議論を重ね、ハイブリッド総会とその後の講演会は、ZoomのWebinar（オンライン会議とセミナー機能を組み合わせたサービス）をベースに実施することに決定。理事会で承認された。並行して専門メールアドレスの取得、パソコンやカメラ、マイク等の必要機器の購入などの準備を進めた。理事会などの会合の機に、接続実験も重ねている。

オンライン化は総会だけに留まらない。今後、コロナが収束しても、同窓会活動はオンライン抜きでは語れなくなるだろう。ポストコロナも見据え、「今やっておくべきこと」について議論を深めている。

ネットの技術革新は急速だ。1年もすれば、サービス環境が全く変わるかも知れない。運用者が見落とした点に、利用する皆様が気付かれることも多いはずだ。お気付きの点、ご意見等あれば、ご指摘いただければ幸いです。

(連絡は静中静高関東同窓会HP「お問い合わせ」ページの「コンタクト」から)

https://shizuko-kanto-alumni.com/contact

議案の主旨説明

第46回 静中・静高関東同窓会総会では左記の四議案を予定しています。当日審議となりますが、コロナ禍の折、WEB併用のハイブリッド方式で行うものの現地会場は縮小規模の開催となる為、正副会長会及び理事会では、会員の皆様へ議案を事前に告知し、ご意見を伺い、総会と会報にて回答とすべきとなりました。ここで議案の主旨を説明し、広くご意見を求めたいと思います。

一号議案 規約改正

昨年11月、本部同窓会総会にて規約改正が行われました。本部の新規約では、名称変更・書面または電磁的記録による決議が規定されており、それに伴う改訂を提案します。

①名称（第1条）

本部同窓会の名称変更に合わせて、静中静高関東同窓会と称する。従来名称も用いることもできる。

②委員会の位置づけ（第5、6、8、11、12、13、19条）

本部同窓会規約に合わせ、委員会について、その位置づけ・選出・任務・任期などを規定する。

③書面または電磁的記録による決議（第9、21条）

本部同窓会の書面または電磁的記録による決議を取り入れるとともに、総会でも可能とする。

④その他、用語や条項順の適正化

二号議案 2020年度事業報告・決算報告・監査報告

【事業報告】コロナウィルスの影響により、正副会長会・理事会を、WEB会議等を中心に進めた。

【決算概要】86万円の黒字を達成しました。同窓会活動への協力がありありがとうございました。

【収入】会費収入は、754口と過去最高となった。大口の寄付と広告枠増加もあり、大幅な収入増加となった。

【支出】WEBによるオンライン化が必要となり、機材購入や環境整備で若干の支出増となった。

【監査】令和3年4月20日、会計監査を実施。

三号議案 2021年度事業計画・予算報告

【概要】オンライン化による新しい同窓会活動やアフターコロナを見据えた事業計画と予算

【事業計画】懇親会のないハイブリッド総会を計画。同窓会活動については、下期にはコロナ収束を想定し、各期幹事会（冬の総会・異業種交流会・卒十六の会などの活動を予定した。

【収入】前年度会費収入の維持は難しいと考え、2019年度予算と同額で設定した。広告費は、本会報掲載の会社分を計上した。

【支出】WEB利用のハイブリッド総会に向け、WEB関連費用や事前会場テストの費用を計上。懇親会がない総会の代わりに、各期幹事会を懇親の場とできる会場費用を計上した。

四号議案 役員補充の件（当日発表とします）

決議方法とご意見の提出について

【投票】下記の「現地会場での参加」と「リモート（WEB）参加」となった方々に、総会当日ご審議いただき、その場にて決議をします。

結果は、12月発行の会報等でご報告します。現地会場には入場数の限りがありますが、WEBの利用により、多くの会員のご参加を期待しています。

【議案・会活動へのご質問】ご意見・ご質問は、出欠席に関わらず広くお受けします。7頁の用紙に記載し、お送りください。その質疑内容も、次号会報に掲載します。（副会長 94期 栗原千朗）

参加申込み方法（どちらか一つ）

現地会場での参加	リモート（WEB）参加
7頁の申込み用紙に必要事項を記入の上、事務局までFAXにてお申込みください。 先着順（会場の人数制限に従います） 6/16理事会で、コロナ感染状況を見て人数・規模の調整をした上で参加の可否通知を、お申込みの方全員に郵送します。 申込み用紙は結果が届くまで保管をお願いします。 申込み期間：5月25日（火）～6月15日（火） ＜＜注意事項＞＞ 会場内にて、PC・タブレット端末・スマホでのWEB会議の立ち上げや録画録音で集音を行いますと、ハウリングの原因になりますので、それらのご使用はお控えください。 マスク着用など基本的な感染防止対策にご協力をお願いします。	メールにてお申込みください。 shizukokanto@gmail.com 上限なし ZOOMウェビナー形式の予定 6月27日（日）14時～18時、事前のZOOM入室テストを実施します。 三日前（6月24日）に締め切り 、テストの招待メールを送ります。 テスト後に、総会のURL、パスワードを2便に分けて送ります。 URLが届かない場合は、迷惑トレイのチェックをした上で、メールにてお問い合わせください。 ＜＜注意事項＞＞ 個人または会場のインターネット通信障害やPCの不具合等、不可抗力により配信が途切れた場合は責任を負いかねます。 その場合は出席が無効となりますので予めご了承ください。 総会・講演どちらも録音録画はご遠慮ください。
ご意見・質疑はどなたでもご提出できます 参加・不参加に関わらず、どなたでも提出できます。必ず、期・氏名をお書きください。 役員会・理事会で協議後、当日総会にて時間の許す限り公開回答します。また後日、会報にも掲載します（議案・会活動についてのご意見・質疑に限ります）。 ご参加の方（現地およびWEB）は、当日、挙手にて質疑が行えますが、なるべく事前に質疑内容をお知らせいただけると助かります。 尚、関東同窓会会員ご本人に限ります。入会をご希望の方はHPお問い合わせページからご登録ください。	

一号議案 規約改正

改正案	現行
＜第一章 総則＞ 第1条（名称） この会は、<u>静岡静岡高関東同窓会と称する。ただし、静岡県立静岡高等学校同窓会関東支部という名称も用いる。</u> 第2条（目的） 当会は、<u>静岡静岡高同窓会の広域支部として、関東支部会員の親睦をはかり、かつ同窓会本部の事業に協力することを目的とする。</u> ＜中略＞ 第4条（資格） 当会は、東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県等を中心とする区域に居住又は勤務する<u>静岡静岡高同窓会</u>会員で組織する。 ＜第三章 会議＞ 第5条（種類） 当会の会議は、総会、正副会長会、及び理事会とする。また当会は期相互の情報交換と懇親を深めるために各期幹事会を設ける。<u>会長は必要に応じ、委員会を設置することができる。</u> 第6条（招集） 総会、正副会長会、理事会、各期幹事会は会長が招集する。<u>委員会は、会長より囑託された委員長が招集する。</u> 第7条（業務） 定時総会は、年1回開催して、事務・会計等の報告を受け、必要事項を議定する。正副会長会は、通常の会務を評議執行し、その他緊急を要する事項につき決議する。理事会は、会長の諮問に応ずる。 第8条（議長） 総会、正副会長会、理事会の議長には会長が当たり、会長が不都合なときは副会長が代理をすることができる。会長、副会長ともに不都合なときは理事の互選で代理者を定める。なお、議長は会の始めにあたり司会役を指名することができる。<u>委員会の議長は、委員長が当たる。</u> 第9条（議決） 会議は全て出席者の過半数の意見をもって決する。可否同数の時は、議長の決するところによる。 <u>第9条の2（書面または電磁的記録による決議）</u> <u>総会、正副会長会、理事会は、次の各事由のいずれがある場合には、会議を招集することに代え、書面または電磁的記録により決議することができる。</u> (1) <u>会議を招集することが著しく困難であるとき</u> (2) <u>緊急を要するとき</u> (3) <u>その他、会長が必要と認めるとき</u> ＜中略＞ 第11条（選出） 会長、副会長、監事は総会で当会会員の中から選任し、理事は会長が委嘱し、各期幹事は各期の推薦を受け会長がこれを委嘱する。<u>委員は、目的に応じ、副会長・理事・監事・顧問の推薦を受け会長が囑託する。</u> 第12条（任務） 会長は当会を代表し会務を統括する。 ・副会長は会長を補佐し、会長に支障あるときはその職務を代行する。 ・理事は理事会を構成し、会長の諮問に応じて当会の運営に当たる。 ・監事は当会の会計を監査する。 ・各期幹事は、各自の期をまとめ、当会の運営に協力する。 <u>・委員会は、会長の諮問事項に基づき活動し、正副会長会ならびに理事会へ提議し、当会の運営に協力する。</u> 第13条（任期） 役員の任期は選任された日より3ヶ年目の定時総会の日までとする。但し重任を妨げない。 ・任期途中で交代があった場合その後任者の任期は前任者の残任期間とする。 ・<u>理事と各期幹事と委員の任期は定めない。</u> ＜中略＞ 第19条（各種集まり及び行事） 各期幹事会は<u>会長が囑託する副会長が、委員会活動においては委員長が、その他諸活動はそれぞれ副会長又は理事がその責任者となり活動目的に添って円滑に運営する。</u> ＜中略＞ 第21条（規約改正） この規約は総会出席者（<u>第9条の1により、書面または電磁的記録による決議とする場合は投票者を含む</u>）の過半数の承認を得て改正することができる。尚この改正規約は定時総会の日から施行する。	＜第一章 総則＞ 第1条（名称） この会は、静岡県立静岡高等学校同窓会関東支部（通称：静岡・静岡高関東同窓会）と称する。 第2条（目的） 当会は、支部会員の親睦をはかり、かつ同窓会本部の事業に協力することを目的とする。 ＜中略＞ 第4条（資格） 当会は、東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県等を中心とする区域に居住又は勤務する静岡県立静岡高等学校同窓会会員で組織する。 ＜第三章 会議＞ 第5条（種類） 当会の会議は、総会、正副会長会、及び理事会とする。また本会は期相互の情報交換と懇親を深めるために各期幹事会を設ける。 第6条（召集） 総会、正副会長会、理事会、各期幹事会は会長が召集する。 第7条（業務） 定時総会は、年1回開催して、事務・会計等の報告を受け、必要事項を議定する。正副会長は、通常の会務を評議執行し、その他緊急を要する事項につき決議する。理事会は、会長の諮問に応ずる。 第8条（議決） 会議は全て出席者の過半数の意見をもって決する。可否同数の時は、議長の決するところによる。 第9条（議長） 総会、正副会長会、理事会の議長には会長が当たり、会長が不都合なときは副会長が代理をすることができる。会長、副会長ともに不都合なときは理事の互選で代理者を定める。なお、議長は会の始めにあたり司会役を指名することができる。 ＜中略＞ 第11条（選出） 会長、副会長、監事は総会で当会会員の中から選任し理事は会長が委嘱し各期幹事は各期の推薦を受け会長がこれを委嘱する。 第12条（任務） 会長は当会を代表し会務を統括する。 ・副会長は会長を補佐し、会長に支障あるときはその職務を代行する。 ・理事は理事会を構成し、会長の諮問に応じて当会の運営に当たる。 ・監事は当会の会計を監査する。・各期幹事は、各自の期をまとめ、当会の運営に協力する。 第13条（任期） 役員の任期は選任された日より3ヶ年目の定時総会の日までとする。但し重任を妨げない。 ・任期途中で交代があった場合その後任者の任期は前任者の残任期間とする。 ・各期幹事の任期は定めない。 ＜中略＞ 第19条（各種集まり及び行事） 各期幹事会等の諸活動はそれぞれ副会長又は理事がその責任者となり活動目的に添って円滑に運営する。 ＜中略＞ 第21条（規定改正） この規約は総会出席者の過半数の承認を得て改正することができる。尚この改正規約は定時総会の日から施行する。

二号議案

2020年度 事業報告

自 2020/4/1～至 2021/3/31

1. 静中・静高関東同窓会総会（議事書面報告）

(1) 定例総会の開催延期について

① 「第46回関東同窓会総会」は、コロナウイルスの影響で見送り、議事は、以下の方法で決議・報告した。

(2) 議事

1. 一号議事 2019年度事業報告・収支決算報告・監査報告

2. 二号議事 2020年度事業計画・収支予算

(3) 決議方法

① 規約7条同20条の「緊急事態」と捉え、正副会長会議での決議とした。決議内容は理事会へ諮問承認ののち、5月発行の会報にて会員に報告、パブリックコメント期間を設けたが意見や異論はなく、12月発行の会報でその旨を公表した。

2. 2020年度会計監査：2021年4月20日実施

3. 正副会長会（役員会）：年5回

4. 理 事 会：年3回

5. 各 期 幹 事 会：コロナウイルスの影響で休会

6. 異 業 種 交 流 会：コロナウイルスの影響で休会

7. 古 書 コ ミ 活 動：コロナウイルスの影響で休会

8. 卒 業 1 5 年 目 の 会：コロナウイルスの影響で休会

9. 名 簿 管 理 委 員 会：新事務所移行に伴い、事務局へ作業を移管

10. W E B 広 報 委 員 会：年間契約の見直しを実施

11. オンライン化プロジェクト：12月より来期活動に向け検討開始、計6回実施

12. 募金・寄付の仕組み作り：下期理事会で1回審議

2020年度 決算報告

(収入の部)

科 目	予算	実績	差異	進捗率	備考
年 会 費	1,440,000	2,262,000	822,000	153%	754件
総会・懇親会費	0	0	0		総会なし
会報広告料	460,000	500,000	40,000	109%	追加枠による
本部助成金	250,000	250,000	0	100%	
受取利息その他	2,500	101,013	98,513	4041%	内寄付101,000円
計	2,152,500	3,113,013	960,513	142%	

(支出の部)

科 目	予算	実績	差異	進捗率	備考
総 会 費	0	0	0		総会なし
準備費会場費等			0		同上
懇親会費			0		同上
会報発行費	1,471,000	1,472,781	1,781	100%	
印刷費	805,000	828,917	23,917	103%	
発送費	616,000	593,864	-22,136	96%	
編集費	50,000	50,000	0	100%	
役員理事会費等	236,000	124,094	-111,906	53%	
旅費・交通費	35,000	12,490	-22,510	36%	
銀行郵便局振込料	70,000	134,039	64,039	191%	振込増加
通信費	40,000	65,026	27,026	168%	下欄注1)参照
内インターネット	32,000	54,258	22,258	170%	下欄注2)参照
事務費	240,000	240,000	0	100%	
消耗品費・雑費	97,000	204,052	105,026	208%	下欄注3)参照
慶弔費	0	0	0		
予備費（活動費）	52,500	0	-52,500	0%	
計	2,241,500	2,252,482	10,982	100%	

収支 -89,000 860,531 949,531

繰越金 3,072,186 4,021,717 949,531

備考欄 注1) 各期幹事連絡 本部役員理事へ会報 本校図書室へスタンド送付

注2) ZOOM会費 HP維持費見直し

注3) PC WEBカメラ スピーカー 三脚 ウィルスソフト

2020年度 監査報告

決 算 報 告 書

(2020年4月1日～2021年3月31日)

収入の部	3,113,013円
支出の部	2,252,482円
収 支	860,531円
繰越金	4,021,717円

財 産 目 録

2021年3月31日現在

1、 現 金	90,178円
2、 預 貯 金	
ゆうちょ銀行	1,854,201円
みずほ銀行	2,077,338円
預貯金計	3,931,539円
現金預貯金合計	¥4,021,717円
3、 静中・静高125年史	
在庫数 3セット @10,000円（事務局保管）	
金 額	¥30,000円

監 査 報 告 書

静中・静高関東同窓会
会長 杉山 順一 殿

2020年4月1日から2021年3月31日までの収支決算書、及び財産目録、並びに関係書類、帳簿等を監査致しました結果、正確適正に処理されて居ることを確認した事を認め、ご報告致します。

2021年4月20日

監 事 松 島 勲 (84期)

監 事 増 井 喜一郎 (85期)



三号議案

2021 年度 事業計画 自 2021/4/1～至 2022/3/31

1. 第 46 回 静中・静高関東同窓会総会予定（幹事 98 期）
 - (1) 日時：2021 年 7 月 2 日(金) 18 時～20 時
 - (2) 場所：日本プレスセンター10 階&WEB によるオンライン総会
 - (3) 議事
 - 一号議案 規約改正
 - 二号議案 2020 年度事業報告、収支決算報告、監査報告
 - 三号議案 2021 年度事業計画案、収支予算案
 - 四号議案 役員補充の件
 - (4) WEB 講演会 講演者：佐野 倫(98 期)
2. 会 報 編 集 委 員 会：年 2 回（5・12 月）会報発行
3. 2021 年度会計監査：2022/4 月
4. 正副会長会(役員会)：5 回
5. 理 事 会：5 回
6. 各期幹事会（冬の総会）：2 月開催予定 土曜日日中開催（A+B ホール使用）
7. 異 業 種 交 流 会：2 回開催（秋・冬）
8. 古 書 コ ミ 活 動：仕組みの見直し
9. 卒 業 16 年 目 の 会：前年検討の期に対し、16 年目の会として企画予定（121 期対象）
10. 卒 業 25 年 目 の 会：新規企画 2022 年春開催に向け準備（113 期対象）
11. W E B 広 報 委 員 会：H P リニューアル
12. オンライン化プロジェクト：WEB 利用によるイベントに向けた検討 & 諸準備
13. 寄 付 募 金 プロジェクト：検討継続

2021 年度 予算案

(収入の部)

科 目	2020年度決算	2021年度予算	前年差異	備考
年 会 費	2,262,000	1,950,000	-312,000	650件（2019年度予算数字）
総会・懇親会費	0	0	0	懇親会無し
会報広告料	500,000	420,000	-80,000	広告枠減
本部助成金	250,000	250,000	0	
受取利息その他	101,013	2,500	-98,513	古書コミ開催1回（各期幹事会）
計	3,113,013	2,622,500	-490,513	

(支出の部)

科 目	2020年度決算	2021年度予算	前年差異	備考
総 会 費	0	270,000	270,000	
準備費会場費等	0	270,000	270,000	(3時間A+B+C) テスト使用代含む
会報発行費	1,472,781	1,490,000	17,219	
印刷費	828,917	840,000	11,083	前年並み 91号20ページ
発送費	593,864	600,000	6,136	
編集費	50,000	50,000	0	
役員理事会費等	124,094	322,000	197,906	各期幹事会A+B 異業種2回
旅費・交通費	12,490	13,000	510	名古屋総会なし 本部総会分のみ
銀行郵便局振込料	134,039	100,000	-34,039	2019年度予算数字
通信費	65,026	84,000	18,974	
内インターネット	54,258	64,200	9,942	Zoom年会費+Webinar24,200+HP16,000
事務費	240,000	240,000	0	
消耗品費・雑費	204,052	27,000	-177,052	カメラ2台目、セキュリティソフト等
慶弔費	0			
予備費（活動費）	0	56,000	56,000	活動費 50,000 図書券 6,000
計	2,252,482	2,602,000	349,518	

収支	860,531	20,500
繰越金	4,021,717	4,042,217

現地会場参加申込み書

(◆オンラインでのリモート参加は、本書ではなくメールにてお申込みください。
3頁の申込み案内参照)

私は、2021年7月2日開催予定の第46回静中・静高関東同窓会総会の
現地参加を申込みます。

令和3年()月()日()期 氏名()

◆結果は郵送にてお知らせいたしますので、それまでお待ちください。

静中・静高関東同窓会の活動に関してご意見・ご要望、質疑のある方は、事前受付をして
おります。(出欠にかかわらず、どなたでも提出可能です。)

◆総会にて時間が許す限り回答し、後日会報に掲載します。

ご意見・ご要望、質疑内容：

令和3年()月()日()期 氏名()

キ
リ
ト
リ
セ
ン

静中・静高関東同窓会 事務局宛 FAX:03-5217-0301(ヘッダー省略可)
〒101-0062 千代田区神田駿河台3-3-11 2F

※FAXのほか、撮影画像またはスキャン後のファイルを添付したメールも受け付けます。
shizukokanto@gmail.com



非破壊検査のトータルサプライヤー

日本マテック株式会社
NIHON MATECH CORPORATION
代表取締役社長 **松島 勤** (84期)

東京本社：東京都新宿区若葉 1-21-17 3F
 TEL: (03) 3221-7531 FAX: (03) 3221-7240 (〒160-0011)
 大阪支社：兵庫県高砂市春日野町4-35 グランメーブル435 1F
 TEL: (079) 447-1561 FAX: (079) 447-1556 (〒676-0814)
<http://www.matech.co.jp/>


株式会社 スマートグラフィックス
代表取締役社長 **福田 浩志** (97期)
 〒171-0052 東京都豊島区南長崎 3-34-13
 TEL. 03-3953-1184 FAX. 03-3953-1194

 〒335-0036 埼玉県戸田市早瀬 2-22-10
 TEL. 048-422-3660 FAX. 048-422-3661

smagro

 「三島」に移住したくなるサイト
Mishima Style 三島スタイル


HP

 曾根正裕
 (95期)


Youtube



高きを仰ぎて心を繋ぐ

 さあ一緒に時空を超えて
 吾等が聖地を歩みましょう

岳南球友会

会長：望月 一男 (70期 野球部)

HP「岳南球友会」

連絡窓口：080-5580-2958 (94期 松永)

メール：k30.ska-1213m@ezweb.ne.jp


静岡のおでんとお酒と黒はんぺん

静岡おでんガッツ

 〒169-0075
 東京都新宿区高田馬場 2-19-8
 阿部ビル 1 階
 03-6273-8663
<http://shizokaoden-guts.red>

代表：市川徳二 (112期)



幼児教育に新しい風を


こぐま会
 幼児教育実践研究所
代表取締役 **久野泰可** (83期) 取締役 **久野淑子** (83期)
 本部 東京都渋谷区恵比寿西1-20-6 K&S恵比寿ビル7F
 TEL 03-3463-3815

Lighting For Your Safety

Koito
<http://www.koito.co.jp>
安全を光に託して

 人とクルマの安全は私たちの願いです。
 グローバルサプライヤー 小糸製作所

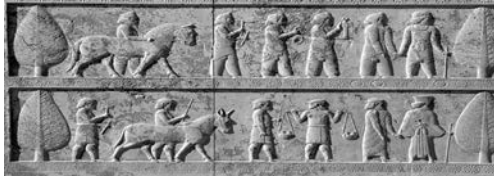
 【本社】東京都港区高輪四丁目8番3号 TEL:03-3443-7111
 【工場】日本、USA、UK、チェコ、タイ、インド、中国、メキシコ 他
 小糸静高会 会長 大嶽隆司 (74期)



イラン人の今昔

82期 大村多聞

7年前にイラン旅行に出かけました。図はペルセポリスにある古代アケメネス朝(紀元前6〜4世紀)の王宮&国際祭儀場の謁見の間の壁に掘られた「朝貢浮彫図」です。エジプト、インド、小アジア、中央アジア23の国からの使節団が描かれています。服装・帽子等で民族判別が可能とのこと。右端にはペルシャ役人が各使節団先頭と手を繋いで先導する姿が描かれており、当時のイラン人が遠来の客



をいかに歓待したかをユーモラスに表現しています。部屋に導かれた各使節団は、イラン側と美味しいワインを酌み交わしてすっかり打ち解けた後に条約交渉・妥結すること。万一間違って酒抜きで交渉してもそれは無効で、改めて酒を酌み交わしてから再交渉すると。

旅行中イラン人の遠来の客をもてなす気風が今でも不変であることを実感。食事中、見も知らないイラン人が近寄ってきてペルシア語で「遠い国から来てくれてありがとう!」と突然語りかけてきたり、街でパン屋のパン作りを見物したら大きな焼き立てのパンを「持つていけ!」と差し出したり、アッパース朝首都だったイスファハンのイマーム広場では高校生と思しき若者男子グループがニコニコ近づいてきて(他国ならぎょつとすると「こゝろ」一緒に写真撮ろう!」と言ってきたり、同行者が就学旅行中と思しき女子大生数名に写真撮影の許可を求めたらどつと大勢集まりにぎやかな撮影会になったり…



「ナグシェ・ラジャブ(ササン朝大王の戴冠式の図)」



ちなみに偉大な詩人ハーフィズを生んだ古都シラーズはワインで有名なブドウの産地だ。今ではオーストラリア等でシラーズ・ワインが作られているが本家イランではワイン作りが消失。「何たることか!」と思うのは不信心者の戯言か。「いいじゃないかいイラン人が幸福ならば!」あれから7年、昨今はアメリカとイランが仲直りできたらイラン人もアメリカ人もそして世界中の人々もさらに幸福になるのではと思う日々です。実はイラン人はアメリカが大好きなのです。きつとアメリカ人旅行者を歓待しますよ!

美しいスリランカの旅

88期 松村淳子

私がスリランカを初めて訪れたのは二〇〇八年一月だった。スリランカの魅力に取り憑かれ、その後度々訪れている。私はドイツで、スリランカ中世にパーリ語で書かれた仏教物語集の研究をしていたのだが、その中に出てくる地理的な記述について興味を持ち、実際に行つて確かめてみたいというのが、第一の動機だった。

エイはまさに東名高速を走っているような感覚だ。さて、昨年の滞在中には、古都キャンディの北、マータレーにあるエナ・デ・シルヴァの「マータレー・ヘリテージ・センター」を訊ねた。センターと言っても、道路脇の暗い林の小路を入った先にひっそりと佇んでいて、見つけるのに一苦労した。もちろん観光客は一人もない。

その後、旅行案内書にも載っていない場所も含めて多くの仏跡を訊ねた。壊れて苔むした石の遺跡も、ここが西暦五世紀の初めに中国の仏教僧法顕が滞在した無畏山寺(アバヤギリ寺)の食堂跡かと思うと、そこに座つて他の旅の僧と語り合う法顕の姿に思いを馳せることができる。残念ながらスリランカの歴史を知らずに訪れる観光客にとっては、たとえ苔むしていても寺院には靴を脱いで入らなければならないので、近くによつて見ようという気も起こさずに素通りしてしまう人が多いとガイドは嘆いていた。

マータレーは、紀元前一世紀ごろ、仏典が初めて書写されたと言われるアルヴィハーラ寺院がある町だ。エナはその地の名門、アルヴィハーレー家の次女として生まれた。一九歳の時、父親の部下のオズモンド・デ・シルヴァと駆け落ち同然の結婚をした。オズモンドがタミル人であり、彼女の父親がその結婚に激怒して、エナを一族から離縁したとのことだ。



エナとその息子

彼女が優れた芸術的センスを持ち、特にスリランカのバティック技術に革新をもたらした。彼女のデザインは独創性の中にスリランカの伝統的なモチーフを取り入れており、その作品は、国会議事堂初め、ほとんどの有名ホテル

昨年二〇二〇年二〜三月に訪れたときまで十二年の歳月が流れ、スリランカの政治も経済も大きく変わった。今では高級車も走り、日本の技術で作られたハイウ

ルに飾られている。また、彼女は大きな作品だけでなく、可愛らしい象のぬいぐるみや、精巧な刺繍を凝らしたベッドカバーやクッションも作っており、二〇一五年の彼女の死後も、ヘリテージ・センターで働いているのは、彼女の存命中からの職人たちばかりで、エナのデザインの忠実な再現作品だけを制作している。

また、エナと彼女の夫は、スリランカ或いはアジアを代表する建築家、ジェフリー・バワと深い親交があり、夫妻の家はバワが設計した。その家もセンター敷地内に移築され、エナが晩年生活したままの状態で保存されている。



職人たちによって
現在も息づくエナのデザイン

スリランカのジェフリー・バワと聞いてピンとこない人も、テレビのスリランカ紹介番組で度々登場するカンダラマ・ホテルの設計者と言え、思い出される方もいるかもしれない。

スリランカ人の名前はポルトガル、オランダ、イギリスの支配を受けた歴史から、様々な名前が混在している。ジェフリーと聞い

た日本人の友人が、つつくり欧米人建築家だと思ってしまったということがあった。優れたものは欧米からという、無意識の差別意識が働いてしまったのではないかなと思う。スリランカを訪れるなら真つ新たな心でその素晴らしい文化や自然に触れてみてほしい。



様々な色の布を精巧な手刺繍で縫い
合わせた小物も魅力的

大自然に触れて

「香港再発見」

98期 小野尚美

香港に住むようになって20年余りだが、この1年間ほど香港の大自然に魅力を感じて山々を歩き回ったことはない。



喧噪な高層ビル街とは別世界の風景

きっかけは、新型コロナウイルスの世界的な流行で域外への移動が難しくなったからだだが、歩けば歩くほど、次はどの山へ行ってみようか、どんな風景に巡り合えるのか、とワクワクしてくる。

香港といえば、「高層ビルが林立するコンクリートジャングル」、「グルメや買い物天国」、「ピクトリアピークからの100万ドルの夜景」などを連想するだろう。あるいは、名作映画「豪情」や、ブルース・リーやジャッキー・チェンのカンフー映画などに思いを馳せる方もいるかもしれない。

かくいう私は、1987年に中国・香港を旅した際に、西洋と中国の文化が折衷する不思議な街の魅力に取りつかれ、97年の香港の中国返還みたさにやってきた。フェリーとトラム（路面電車）に旅の緊張が緩んだ記憶もある。

住んでみると、狭い土地に多くの人が行き交う活気ある顔とは別に、自然と共存している一面があることもわかった。どこに行くにも交通のアクセスが良く上に、行く先々でそれまでとは全く違う風景を味わえる。多くの人で混雑するオフィス街から30分もバスに乗れば、「豪情」に出てきたあのビーチを連想させるのどかな風景が目の前に広がるのだ。

とはいえ、私もこれまでは香港人同様に、余暇は海外旅行ばかりに目を向けていた。しかし、コロナ禍でそうもいかず、気分転換や健康のために山登りを始めてみると、香港の自然の豊かさは想像以上だった。



ハイキング中に野生の猪に遭遇

前方に広がる山々の曲線美、折り重なるように海に浮かぶ無数の島々、澄み渡る青空……。2〜3時間も歩けばこんな絶景を360度のパノラマで味わえる場所が沢山ある。夕暮れ時は息をのむ美しさだ。



五年にあやかり春節元旦は
黄牛山(ウォンアウサン)へ

標高300〜500m程度の山が多いから、程よいペースで楽しめる。尾根伝いに山々を縦走できるし、疲れたら途中で下山もできる。半日〜1日あれば手軽にリフレッシュできる世界が、日常と隣りあわせて無数に広がっているのだ。

余談だが、小高い山からの風景といえば、数年前に静岡浅間神社境内から賤機山に登って見た風景が忘れられない。母校の校舎、富士山、駿府城公園が一望できた。高校時代、実はとても素晴らしい環境の中で皆と学生生活を送っていたことを今更ながらに実感し、懐かしかったのだ。

さて、香港の山登りの魅力はまだある。見たこともなかった美しい花や、人間慣れした野生の牛や猪に遭遇することだ。そして何より、汗を流し、美しい景色に心を洗われた後に下山して飲む一杯のビールの美味しいこと。「香港再発見」の山歩きは、まだまだやめられない。

私と音楽の関わり

77期 高塚昭男

高校2年の夏に私の生活は大きく変わった。将来の目標を音楽と決めたのだ。子供のころから歌うのは好きだった。音楽大学受験では声楽科でもピアノは同期の諏訪哲夫君ぐらいに弾ける必要があるのにバイエルも触ったことがなかったのだ。それまでは音楽部で好き勝手に合唱をして、諏訪君が弾くモーツァルトのピアノソナタに感心していただけた。合唱の合奏で楽譜は少しは読めた。ピアノは学校のを借り、授業のない時間は音楽室で自習、定時制の時間帯も使用許可を得、売店でパンやはんぺんフライを腹に入れ、時間を惜しんで練習した。音楽の川合愛子先生、担任だった川島先生と3年次の杉山先生には温かいバックアップを頂いた。

東京芸大卒業後は東京で演奏活動をしていたが、常葉学園女子短大から講師の声が掛かり、発足したばかりの静岡県オペラ協会で演奏の機会を頂いて、地元静岡に本拠を移したのが30歳だった。その後、私は61歳の春、定年を迎える前に退職してイタリアに移り住んだ。刺激の少ない静岡の音楽界、薄れていく自分の演奏

への情熱、大学が時代に生きるための改変など、それまでの生活に限界を感じて年金生活を選ぶことにしたのだ。在職中、休暇にはヨーロッパ中心にオペラ鑑賞の旅をしてきた。住むのなら言語に少し馴染みがあり、寒いドイツよりも暖かく明るいオペラ発祥の地イタリアだな！旅行中ミラノでは痛い目にあったから、世界の中心だったローマか花の都フィレンツェにしよう。

悩んだ結果、フィレンツェ在住で伊豆出身の女性を頼って妻と猫と共に静岡と似たこの街に来たのが2004年4月1日。その後、妻が日本人学校に2年間勤めたのでローマにも住むことができ、街選びで悩むことはなかった。

年金生活では贅沢はできない。しかしイタリアは安くて美味しい食材やワインのお陰で生活費を抑えられ、大好きなオペラを聞きにイタリア内外の街への旅を楽しめる。2002年にバリトン歌手レオ・ヌッチをヴェネツィアで聞いて以来、彼目的で多くの街を訪れた。私と同年の1942年生まれ



オペラ公演後のレオ・ヌッチ氏と筆者(2014年、ジェノヴァ)

の彼だが今でも大活躍だ。

ヨーロッパなら2時間も飛行機に乗れば、それも格安航空券を使い安宿に泊まれば、各地の料理を満喫してもさほど懐には響かない。

イタリア在住でも私は日本人！日本の様子は気になるがインターネットで知ることができて有難い。そして更に嬉しいのは日本からのお客さんから頂く生の日本情報。高校時代のハーモニカバンドのメンバーで同期の栗田収司君も何度かイタリアに遊びに来てくれた。新型コロナの影響で日本とイタリアは遠くなつたが収束して再会する日を楽しみにしている。



今は観光客がいない大聖堂の前で

小さな旅の物語イタリア

77期 栗田収司

放課後、今日も隣の音楽室から「帰れソレントへ」を歌う高塚昭男君のテノールが聞こえる。ここはハーモニカバンドの部室だ。あれから60年、高塚君はいま

イタリアのフィレンツェにいます。

イタリアが好きになって言え、イタリアが好きになったきっかけは映画「ローマの休日」、古代ローマの遺跡や美しい自然、ワインと食事は優れて素晴らしいが、もっと良いのはイタリア人だ。彼らのいい加減さに腹を立てたり、その陽気な大らかさに救われたりして、日本人の物差しで測ると驚くことが多いが、イタリアは観光立国、何処へ行っても楽しませてくれる風土が素敵だ。

ローマやミラノなどの定番観光地は2回の旅行社ツアーで卒業し、今度は妻と二人の個人旅行と決めた。挨拶程度のイタリア語、ヒアリングが苦手な英語、手ぶりで身振りのパントマイムで何とか凌いだ。何回か行くうちに、フィレンツェのドゥーモ近くの小さなホテルが定宿になっていった。2012年5月、卒業以来51年ぶりにフィレンツェ中央駅で高塚君と再会した。それからのイタリア



フィエーゾレからフィレンツェ市街を望む

旅行ではアドバイスを受けながら、「君は行きたいところへ行け！俺は飲み食いだけ付き合う」と、付かず離れずの仲が続く。

この時はフィレンツェから北8kmにある美しい街フィエーゾレへ。ここは紀元前からの先住民エトルリア人の地だったが、ローマ化されて劇場や神殿の遺跡が残り、今はフィレンツェ市街を一望できる人気スポットだ。ちょうど、日本平と駿府城公園の距離だろうか。



ソレントからヴェスヴィオ山とすぐ右がボンベイ

2016年5月、高塚君の歌声にゆかりあるソレントへ。ここは近くの大都市ナポリの危うさから逃れて海山に囲まれた静かなリゾート地でお勧めだ。公園ではアコーディオン弾きが「帰れソレントへ」を熱演して旅情をかきたてる。ソレントからアマルフィ海岸を往復して、ナポリへ戻る周遊鉄道の中、「クリタサン！」と声がかかった。アメリカ人ご夫妻で

昔は軍属の方、横浜のオフィスに滞在したことを懐古しながら「日本はWonderful」と話された。私のスーツケースの「KURITA」文字を見ての声かけだった。

その帰りにフィレンツェに寄り、高塚夫人の車で南に100kmの世界遺産オルチャ溪谷を巡った。



糸杉がシンボルのオルチャ溪谷は本当に美しい

ここは大昔の海底が隆起してできた瘦せ地だったが、14世紀以降の開墾や土壌改良の結果、糸杉がシンボルの広大で美しい丘陵地帯に変わった。

その一角のブルネッロワインの町モンタルチーノ、ワイナリー勤務の友人の奥さんが経営する装飾店で再会を果たし、その紹介で行ったリストランテのワインとラビオリがすごく旨かった。

2017年4月、ワインの名産地ピエモンテからフィレンツェ経由でシチリアへ渡った。美しい州都パレルモ、ギリシャ時代の神殿遺跡アグリジェント、古代都市シラク

ーサ、保養地タオルミーナへ。



アグリジェントのコンコルディア神殿

それぞれが個性的で素敵な所だが、再びこの島に行く機会があれば、パレルモの雑踏の中で、シチリア食の食べ歩きをしたい。

アグリジェントのバスターミナル、神殿行きのチケット売り場が見つからずウロウロしていたら、二十歳の旅行中のイタリア人女性「FOLLOW ME!」と近くのBARへ案内してくれて、そこで無事に買った。心なしかこの娘さんが「知的な美人」に見えた。

シチリア島は地中海の真ん中にあり、古代から様々な異民族に支配されて独特な文化を生んだが、一方では侵略に拠る過酷な生活を強いられた。「信頼できるのは家族しかない」、家族の結束を重んじるシチリア人気質は映画「ゴッドファーザー」を生んだ。シチリアの人達は親切でフレンドリーだったが、なんとなく陰のようなものを感じた。

2018年5月、北イタリアのドロミ

テ溪谷へ。ここは東アルプスの一角で、古代は海の底だったが、地殻変動で地上に隆起した石灰質の岩石が氷河に削られて、このそり立つドロミテ山塊が生まれた。東西180km、南北120kmと云われるドロミテはこの奇妙な絶景を眺めるだけでなく、ハイキングやサイクリングなども楽しめる。



脅威の絶景 ドロミテの華「トレ・チーメ」

この辺りはオーストリアと接していて、領土の奪い合いの場だった。第一次世界大戦でドイツ・オーストリアに勝ったイタリアが奪い返したが、今も文化や言葉はドイツ圏。イタリア南部に比べれば犯罪も少なく規律は正しい。横断歩道を渡ろうとすれば、車は例外なく停まってくれる。南部ナポリではこうはいかない。

そんな人々の暮らしを垣間見ながら多くの街を歩いたが、見るもの聞くものに刺激があり、この国の自然・歴史・生活・心の豊かさとともに、日本の良さも再認識させてくれる旅だった。

赤道直下のアフリカで

「九死に一生」

82期 八牧浩行

ロンドン特派員をしていた80年代にヨーロッパ、アフリカ、中東など40カ国以上を取材した。

「ガボンで開かれる国際会議をカバーしてほしい」と本社の指示。アフリカで馴染みのあるエジプト、ケニア、南アなどと違いすぐにイメージできなかった。人口わずか160万人。1960年に共和国として独立するまで仏領赤道アフリカと呼ばれていた。ノーベル平和賞のシュヴァイツァーの病院が密林地帯のランバレネにある。

行くまでが大変だった。マリリアの予防接種を受けビザも取得したがロンドンからの直行便がなく、パリ発のエールフランス便を予約。便数が限られドゴール空港近くのホテルに一泊した。

地中海の青、サハラ砂漠の赤、熱帯雨林の深緑の上空を南下すること8時間。着いた空港でタクシーを降りると灼熱の太陽に直撃され眩暈がした。首都リベールブルは奴隷貿易都市として栄えた暗い過去を持つ。中心部までのタクシーから見えるのは竹で作られていた粗末な家ばかり。人の姿もほとんど見かけなかった。運転手によると日中は熱いので外に出ないという。

一流ホテルにチェックインしたが、ロビーで黄色のトカゲが何匹も徘徊しているのに驚愕。翌日夕方に市内を見学した。赤茶けた通りは人の波。ほとんど裸同然で白いパンツが際立つ。食事は火を通したもので、氷やサラダもご法度だった。

「事件」が起きたのは深夜である。突然右腕が痛み出し膨らんでいる。赤く腫れ膿が溜まっている様子。明日の会議本番を控えて一大事である。病院も危ないと聞いたので自分で治そうと決心し、洗面室で一時間余り格闘。痛みをこらえて大量の膿を絞り出した。発熱して目が回り朦朧とした。これまでかと思えたが、冷蔵庫のウイスキーで消毒し、痛み止めに一気飲みしたところ、いつしか深い眠りに。朝目覚めると痛みは消えていた。

会議取材の日本メディアは通信社だけ。東京から三日かけて来訪した旧知の前川春雄日銀総裁に話したら「凄い記者魂!」と感心された。IMF暫定委員会、蔵相・中央銀行総裁会議のほか独裁政権やハエだらけの肉・魚市場、伝統音楽・美術なども取材し貴重な6日間だった。茜色の大西洋に沈む夕陽の美しさも忘れられない。今でも残る右腕の傷跡を見る度に当時を想い出す。

わたしと俳句



校閲の式神

「コロナ下でゆく」

同期生とのコロナ旅

95期 坂井則之(31 HR)

島田淳(32 HR)

見原万智子(31 HR)

校閲部に在籍していた坂井則之君だった。

恩田先輩の原稿は俳句に止まらず短歌・絵画・絵巻物・仏教・認識論など幅広く奥行きも深い。Microsoft Word のA4約230頁、20万字を超える大作だ。

二〇二〇年一月一八日、各期幹事会・通称冬の総会が開催された。参加しやすい土曜の昼間開催となり、新企画により交流の楽しさもいちだんと増し、窓外の雲を溶かさんばかりの熱気に包まれつつお開きとなった。盛会の余韻に浸りながら、同期の清水尚彦君、島田淳君、見原は、日本プレスセンターのラウンジで八牧浩行顧問(82期)とご一緒させていただいた。

話が尽きぬなか、おもむろに八牧顧問がこう切り出された。

「恩田侑布子さん(91期。俳人・文芸評論家、静岡市在住)から『現在執筆中の評論集の校閲者を探して欲しい』と頼まれたが、なかなか見つからない。校閲は特殊技能だからね」

「それなら同期に適任者がいます」と三人同時に白羽の矢を立てたのが、当時、朝日新聞社

そんなお忙しい方に…という

恩田先輩の遠慮をよそに、坂井君は「静岡に拠点を移す準備を進めていた折も折、活動の場を与えていただけたとはありがたい」と快諾した。さらに、横俳句会(代表・恩田侑布子さん)ホームページの編集で、「スマートフォンを持つていない人でもスマホ向けの画面を作れる」という奇天烈な仕組み」を考案した島田君、学術誌や同窓会報の校正経験を持つ見原が加わり、95期校閲・校正お手伝いトリオ BYTE (Back Yard Team) の略。コンピュータの情報単位「バイト byte」と掛けている。)が誕生、三者三様の視点で始動した。

直後に出版元がコロナ禍を受けて出版未定に。だがこの評論集を世に出すのは必要火急とばかりに、坂井君は静岡新聞社での新しい仕事の間隙を縫って校

閲を続け、梅雨入り前に「終わりました。(直観的な)一読だけです。これでこれから絨毯爆撃(綿密な確認作業)が必要ですが」という知らせと校閲結果がもたらされた。疾きこと風神の如し。

見原の経験では確認作業に Word の校閲機能を用いるのが普通だが、修正箇所が増えくると読みづらく漏れが生じたり、ファイルが壊れ作業内容が消えたりするのが難点だ。230頁ものファイルが壊れたらどうする？

それを聞いた島田君の脳内で前代未聞のアイデアが閃いた。各自が確認した内容を Excel ファイルに入力しそれを一枚の Excel シートにマージ統合すれば一目瞭然、Word の校閲機能は必要ない！

校閲の門外漢が開発した書式は即物的に kanrihyo と名付けられ、気になった内容とその章・節・頁・行、修正案、裏付け資料の URL、いつ誰が確認したかなどが一覧表になっている。Excel ファイルは Word より壊れにくい。URL のリンク先(ホームページ、画像等)をも一つのフォルダに収めたため容量は約80MBとメール添付には向かないが、OneDrive(クラウド)に保存することで解決を見た。

つまりどんなに修正箇所が増えても、作業者が何人いても、ロ

グインすれば同一の内容と校了までの成り行きを俯瞰できるのだ。雷雲(クラウド)から稲穂に実りもたらす雷神の如し。

師走、事態が大きく動いた。

出版業界でその名を知られた編集者の方が原稿に惚れ込み、「是非うちから出版しましょう」という申し出があり、出版元が確定したのである。

二〇二一年一月二六日、

BYTE は kanrihyo を出版社や恩田先輩と共有した。この時点で、三人が手分けして確認した項目数は770箇所を超えていた。出版社の社長からは「驚きました。実に入念なお仕事で、恩田先生とその作品への愛を感じていました。制作にあたりまして、大いに活用させていただき

ます」とお褒めいただいた。恩田先輩には「お三人のご親切と熱意の賜物を大変ありがたく拝見しております。まさに夢のような新兵器。校閲神という商品名で売れるのでは」と喜んでいただいた。島田君は「神」とい

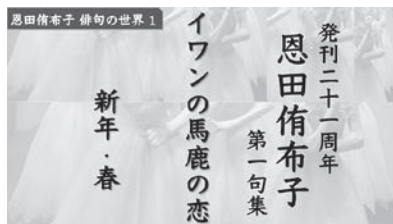
はどではなく式神くらいかと」と謙遜した。

同窓会のおかげで、幹事学年の活動を通し絆を培った我々はいにもかかわらず、コロナ禍でも恩田先輩や同期生と一緒に旅することができた。そして、古

代中国から古今和歌集、絵巻物、茶の湯、芭蕉、北斎、現代俳句を往還する壮大な文芸評論が生まれるお手伝いをする事ができた。その後 kanrihyo は Merge and Urge (統合)・督促するの意)に改名、倦むことなき絨毯爆撃は現在も続いている(本稿は関係者のメール、LINE を抜粋し構成しました)。

＊本評論集のタイトルや発売日等を YouTube『恩田侑布子俳句の世界』の中で順次お伝えしていく予定です。本稿執筆中の二月時点で第1回を公開中、恩田侑布子第一句集『イワンの馬鹿の恋』から新年・春の計七句を紹介しています。

<https://youtu.be/BagKI-AUlc> 第2回では同句集から夏の句を紹介、静岡県民写真展で県知事賞(最高賞)を受賞した山本均君(95期)撮影の写真が登場します(予定)。ぜひ視聴ください。



恩田侑布子 俳句の世界で検索してください

たかが同窓会、されど同窓会 22回

静中生がいた日々

71期 浦田 彰

2019（令和元）年の会報88号で私は某後輩から「シズナカ」って何？」って聞かれて慌てたということを書きました。

記録です。私が担任したクラスの中で静岡を離れて久しい皆さんの、静高時代の思い出のよすがになれば幸いです。」

シズナカは生きています。同窓会の規約は「第一条（名称）本会ハ静岡中静高同窓会ト称スル」とあります。静岡同窓会150年にわたる歴史には旧制・静岡中学60余年の星霜が含まれているのです。遥かなる先輩、静岡中学の生徒たちはどんな学校生活を送ったのでしょうか。皆さんの父親が曾祖父の時代です。

46期 一宮弘道さん「大正15

辞に感銘した。氏は、この事件は偏向思想をもった者の行動である。諸君は今後世に出る訳であるが、このような思想を持った人と接触する事は十分注意するように」という内容であった。何かテロ臭いと感じていた中学生にとつて衝撃であった。」



三浦孝一先生から贈られた文集『回想 静岡中學校 戦中戦後の激動期を生きて』

手元に『回想 静岡中學校 戦中戦後の激動期を生きて』とある270ページの文集があります。これは長年母校の教壇に立たれていた三浦孝一先生から贈られたもので、文集に添えた先生からのお手紙にこうあります。「…静岡

150周年の記念事業の一環として作成したものです。…内容は戦中戦後に渉る10年間（58期～68期）の混乱期に在籍した仲間たちの同窓会外史ともいえるべき

54期 下山清さん「二・二六

事件は2年生、先生から今、東京で大事件が起きている。皆冷静にというお達し。この日珍しく大雪、皆はしゃいで教室に雪を投げ込み教室は水浸しになった。」

5年生と2年生の差、肉体的にも精神的にも中学生は成長していきます。

51期 宮野守信さん「…卒業

式は昭和11年の3月、二・二六事件の直後であった。来賓の一人衆議院議員尾崎元次郎先輩の祝

3年以上は執銃教練だった。校舎の東側に兵器庫があり、3年生は村田銃、4、5年生は三八式歩兵銃だった。空包を使う演習が年2回、空包は5発配られた。」

46期 一宮弘道さん「藁科川の河原で幕営演習。歩哨の夜間任務を習ってテントを張り宿営を体験。朝4時に起床して飯盒炊爨、7時に整列、学校まで隊列行進して解散。」

58期 松永昌二さん「汽車通だったので駅を降りると直ちに整列し、最上級生の指揮のもとに4列縦隊で足並みをそろえて学校まで行進する。途中で将校にでも会うと5年生の指揮のもと『歩調をとれ！頭ッ右！』と号令をかける。お堀にさしかかると出勤途上の将校に出くわすことが多く、号令を掛けるほうも掛けられるほうも大変だった。」

60期 望月雅二さん「5年生の7月から小鹿の三菱工場へ動員となった。ゼロ戦のエンジン試運転の作業で、配属将校から、背が高く体に自信のある者は前に出ると言われ、恐る恐る前に出た。勉強は忘れた。毎日々々の勤勞奉仕だった。」

60期 逸見昭三さん「忘れも

62期 伏見茂男さん「…工場

動員、最初の1週間は万力に厚さ1cm、幅5cmの鉄板を挟んでタガネとハンマーで切断して、ギザギザの切断面をヤスリをかけて平らにする作業だった。隣りのコンベアには精華高女の5年生が動員されていて、昼休みにチョット離れてローレライなんか歌ったものです。朝8時から朝8時まで3交代勤務、安西から電車で曲金へ出て、田圃道を歩いて通った。」

軍事教練・学徒動員など戦時中の静中生たちの学校生活は、なんと厳しかったことか。それでも登呂遺跡の発見に静中生が関わっていたとは！

51期 田中賢一さん「週3日の軍事教練、1、2年は徒手教練、

軍事教練・学徒動員など戦時中の静中生たちの学校生活は、なんと厳しかったことか。それでも登呂遺跡の発見に静中生が関わっていたとは！

67期 花崎孝夫さん「終戦の日の翌日、校長先生が全生徒を集めて、『日本は負けた』と演説。約3時間、炎天下の校庭で聞いていた生徒は次々と倒れ、私も意識が無く気がついたら日陰に寝かされていた。終戦直後にはまだ陸軍の教官がいたが、ある日の教練で『これからアメリカの民主主義が日本に来る。民主主義は生徒に号令を掛けてはいけない、生徒を並ばせてもいけないことになった』といった。僕は教官の顔をみて釈然としない思いだった。」

64期 桜井一男さん「21年6月17日、住友の仮校舎に天皇陛下がMP(※)に護衛されて行幸された。軍人になるつもりでいたのに裏切られた気持ち強く、陛下になぜこうなったのか直接聞いてみたい衝動に駆られた記憶がある。国の為に死ぬつもりでの反動だったのだろう。」

※MP= Military Police 憲兵

66期 森山秀夫さん「昭和21年2年生の時、復活した野球部に入った。布製のグローブでへばるまでの練習の毎日、4年生で投手になったその年の夏16年ぶりの甲子園、いつの間にか静高生になっていた」。

こうして、昭和23年4月の学

制改革によって静岡中学4年生は進級して静岡高校(当時は静岡第一高校)2年生となり、中学5年生は高校3年生となりました。高浜虚子の句に

三度挑んだ135期藤田大和の慶應文進学野球部入部が喜ばれた。今の静高は、希に見る長身投手陣の高須・松橋・鈴木脩矢・法月・吉田優飛等の球が活き、打つては金子主将内外野手・二塁渋谷・遊撃手山本等がシャープに繋ぎ、三番ハイセンスな中堅相田・四番強打の左翼池田・五番華麗な振りの一塁座馬と袴田・頼もしい捕手

去年今年貫く棒の如きものという句があります。ある年の越年の句ですが、静岡中学校と静岡高等学校も何か棒のようなもので途切れることなく連綿として続き、印高の伝統を受け継いでいるのです。若い同窓生にとってシズナカは既に歴史なのかもしれないが、時には旧制・静岡中学に学んだ先輩たちに想いを馳せてほしいものです。

最後に、文集から引用させていただきます。諸先輩 ありがとうございます。

新しい夏に

健やかな未来を拓く

岳南球友会員
94期 松永啓

非常な世で健やかに伝統の明りを灯す現チームの成長に尊い有り難さを感じ、栗林俊輔先生への謝恩と新任の池田新之介先生(112期主将内外野手)を歓迎する春。ベ이스ターズ池谷の好投、西武将平・楽天堀内の快音、東大に



春の野にヤマトタケルの末裔よ 剣のごとく投打さやけし

川端と連なつて、三塁は山岸と永島、外野に宮本・伊藤・池谷・石塚レイ(筑波大附属中)と、歴代優位の強打堅守・学業極めて優秀な逸材がひしめき、光輝く恵みの里、長谷校庭に切磋琢磨の球音が満ちる。昨秋来、東海大相模・中京大中京・県岐阜商・作新学院等と練試合を重ね、四月には小関雅司新校長先生観覧のもと県中部大会で優勝。掛川西、加藤学園など

群雄割拠の春県大会で研鑽し夏の上位シードを狙う。今選抜で他言語の校歌が論を呼んだが、静岡野球部創設ナインの12期柴田善二郎選手(磐田郡出身・81期柴田尚同窓会関西支部長)の曾祖父(父)が大正期に朝鮮総督府学務局長としてハングル文字の普及にも携わり、昭和4年夏の甲子園で大阪府知事として静中ベンチを訪れる点、歴史は全て繋がっている。時の二年生エース鈴木芳太郎(歴代最多104勝)が戦後最初の監督となり、育成された70期望月一男内野手現球友会長が、お元気にネット裏からチームを見つめる。月間ベースボールマガジン四月号には77期石山建一主将レジェンドが、プロの西武・アマのプリンスホテル同時創設に伴う所沢球場建設の物語を



四番池田の強打



エース高須の快投

プロジェクトXとも見られる臨場感で紹介され、そこに選手ファースト、ファン尊重の哲学を感じ、静岡野球部OBの単に野球に留まらない偉業に敬服した。現チームが新しい世に静岡野球の真髄



石塚レイの走塁

を体現する予感が強い。お盆の聖地では、縦縞のワルツ・明るく豊かなフォーク・世界言語などの校歌を尊重しつつ、熱中症予防の通気性マスクを通して富士の高きを仰ぎ、白雪の清らかな心を、未来に向けて適切な音量で口ずさもうではないか。



77期石山建一主将講演(ふじのくに基準)に感謝の花束(抗菌性)

美学による課題解決

ポストコロナの場づくり

120期 高田 彩実

私はロンドンや東京の設計事務所経験を経て、2019年に ayami takada architects を設立しました。課題解決の視点から空間デザインに取り組んでいます。

昨年はコロナウイルスの感染拡大により、住まいや職場に求められる価値観が大きく変わりましました。公共空間、オフィス、ホテルや住宅など人の活動する場所の機能転換が求められています。が、法の拘束や事業が成立するまでにかかる時間が課題となっています。クライアント一人称のため占有空間の提案だけではなく、生体反応や人の動きの解析、サブスクリプションなどの手法を用いて場所と時間の仕組みや原理を考える試みを行っています。場の提供に携わる様々な方と協働し、今だからこそできる新しいきっかけづくりをしています。

リアルタイムの効果と長期的な視点の両方を考慮し、不動産のある程度流動的なものにとらえて世代を超えた長期的な戦略を持ちながら計画することがこれからの時代に求められていると思うので自己成長能力のある建物をつくりたいと考えています。



Networking Garden (コンペ応募案)

設計事務所はもとも場所を選ばない職種であるために、海外の仕事を引き受けることもあり、テレビ電話を介したコミュニケーションなど十年以上前から取り入れていました。建設現場の近くに常駐して本社と連携しながら作業を行うこともよくあります。現に昨年の春に緊急事態宣言が発令された時もロックダウン中のパリに住む建築家とやり取りをしながら作業を進めていました。今まで自分が行ってきた働き方の体験からも、先の見通しを立てて今後多くの人がぶつかりそうな課題を解消するよう心掛けたいです。

できあがるまで時間を要する建物のブランディングのために、xa (カケルエー) というブランドをつくり、プロダクトデザインも

行っています。溶接や絞り染め等の優れた技術を活用し、日本ならではの商品を開発しています。

こちらは現在開発中のソファです。ランダムな形状で場所により見た目と座り心地が異なり、小さな部屋でも様々な使い方を楽しめる家具を考えました。建物は一点物としてオーダーメイドでつくられます。一方、量産を前提とする乗り物などの工業製品は1つのプロダクトに対して繰り返し検討を行いやすく別の次元の強度を持っています。両方のデザイン手法を活かして建築を設計したいです。



SHIBORI Sofa

東京レザーフエア (5/26・5/27 @ 都立産業貿易センター台東館) にて展示される予定ですので、お近くに訪れることがあれば覗いてみてください。

美学にはありとあらゆる課題解決能力があると考えています。人と対面する時間はその場限りかもしれませんが、美しい場所の効果は継続するため大きいと思

います。様々な人の視点に立ち、空間をつくることでよりよい未来を描いていきたいです。



#Cloudzoo

昨年の xa の展示 (#Cloudzoo) の動画 (<https://bit.ly/3sBzpXU>) は同級生の樂溯さんに選曲とピアノの演奏により BGM をお願いしました。視覚と聴覚が融合する素晴らしい作品に仕上がりましたのでぜひご堪能くださいませ。



120期 樂溯(Su Luan)さん

静岡は温暖でのにびりしている分、潜在的な課題への対応が遅いため、恵まれた経験を地域づくりに生かしたいです。小さなものから大きなもので、快適な空間を求められている方は気軽に相談ください。



ayami-takada.com

xa

ayami takada architects

代表・一級建築士 高田 彩実 (120期)

建築・ランドスケープ・インテリアの企画・設計及び監理 / 都市開発・地域開発・都市計画に関する企画・調査・設計・監理 / 家具・工業デザインの企画・設計・販売 / 都市及び建築に関する教育・講演・出版

◆原稿・写真を募集します！

静中・静高関東同窓会の本会報(年2回=5月、12月発行)とホームページ(随時更新)は同窓生と関係者が行き来する「情報広場」「ニュース交差点」です。関東での同窓生参加イベント、同窓生の活躍ぶり、エッセーなど、お気軽に投稿してください。

会報=メール添付で下記のメールアドレスにお送りください。

郵送の場合は同窓会事務所宛にお願いします。

yamaki@recordchina.co.jp (八牧)

ホームページ=「静中・静高関東同窓会」⇒トップページ右上「お問い合わせ」⇒「投稿ページ」を開き、投稿フォームに入力してください。

震災から10年、

支援活動と静高ネットワーク

Save Iwate 代表 92期 寺井良夫

あの日から10年が過ぎました。瓦礫で覆い尽くされていた三陸の町、段ボールを敷いた床の上で横になっている高齢の避難者、全国そして海外からも届けられた山のような支援物資。つい昨日のことのように思い起こされます。盛岡で生活していた私が支援活動を始めたのは震災翌日の3月12日のことです。それまで災害支援の経験など全くなかった私でしたので、何かしなければと心ばかりが焦っていた。パニックに近い精神状態だったと思います。そんな時、真つ先に頼りにしたのは静高時代の仲間達でした。手元にあった同級生のアドレスに一斉メールを打ったのです。「お願いです、助けて下さい」。

一富士の焼きそばと静岡おでんの炊き出しを家族で運んできてくれた同級生、夏みかんや衣料品、自転車等をトラック満載で届けにきてくれた先輩がいました。2014年からは関東同窓会のメンバーを中心とした被災地応援の岩手ツアーが毎年行われるようになりました。昨年は残念ながら新型コロナウイルスの影響で中止せざるを得ませんでしたが、2019年



2014年の岩手ツアー。
久慈市「あまちゃんの灯台」前で

先日10年の節目にあわせ、これまでの災害支援と岩手ツアーを振り返るオンライン懇親会が開かれました。画面越しではありましたが嬉しい再会でした。私がかこれまで活動を続けてこられたのも、静高の仲間達の支えがあったからこそ改めて感じました。長い間私を助けて下さった皆さんにこの場を借りて感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

編集後記

▼2年ぶりの関東同窓会総会が7月2日に開催されます。コロナ時代に相応しい形で、リアルとオンラインのハイブリッド（融合）を目指しますので奮ってご参加ください。春の県大会で野球部は奮闘しており、夏の甲子園大会に向け県予選での制覇が期待できそうです。

ゆっくり続ける予定です。「わたしと俳句」「たかが同窓会」「岳南球友会」は人気連載シリーズとして残っています。

▼大河ドラマ「青天を衝け」の洪沢栄一は静岡で仕事し、在住経験もあります。最後の将軍徳川慶喜は一八六八年から一九七一年まで30年余りにわたって静岡（紺屋町＝浮月楼や西草深）で暮らしました。両氏とも母校（静岡中学時代）関係者との縁もあるようですので、秘話を発掘できればと考えています。

事務局より

◆4月より事務所（新聞）の電話・FAX番号が変わりましたのでよろしくお願ひします。
Tel 03・5217・0300
Fax 03・5217・0301

◆当日サポーター募集

初のWeb総会に向けて事務局でも準備を進めています。様々なトラブルに対応するには専門知識が不足です。PCが得意な方、Zoomウェビナー開催経験のある方等ご連絡をお待ちしております！
shizukokanto@gmail.com
（事務局アカウンとして役員で共有しています）

◆前号より本部役員・代表理事の方々にも会報を送らせていただいております（会員数に含めず）。今後も活動理解と連携を宜しくお願ひします。

◆会員現況（発送数） 3746名

◆ホームページから住所変更ができます◆

S

総会 異業種交流会 天啓乃会 古書コミ 会報 リンク集 同窓会組織 お問い合わせ

https://shizuko-kanto-alumni.com/contact

↑

まずこのメニューを
選んでください

お問い合わせ

住所変更のご連絡

会報の送付を依頼したい方、送付先を変更される方は、以下のフォームよりご連絡ください。

住所変更連絡フォーム

次ここをクリックして住所を入力してください

2020年度 静中・静高関東同窓会会費拠出者一覧 (七五四件)

多くのご支援ありがとうございました

71	石川宏、伊藤勝、浦田彰、遠藤吉隆、荻野寛、	77	青木三郎、安達忠良、石橋三洋、石間啓一、	85	石黒和紀、遠藤とも子、杉山由紀子、
70	片山智司、北村孝、久澤正雄、清水令一郎、	76	青島大太郎、池田哲郎、國保能彦、坂内三容、	84	鈴木啓俊、曾我恵一、多賀谷保治、竹下晴久、
69	天野高廣、植村守代、倉田聰、谷川治弘、		清水澄夫、杉山貢、鈴木與平、高田忠敬、		成田恵理子、野口洋一、古谷良樹、松島勤、
	原久弥、原野谷和弘、山下泉、吉原健三郎、		田口紘一、田村充、塚本平二、山崎文徳、		三宅幸夫、吉野文江、渡会清治
	石山博、大場良臣、小澤良輔、影山昇、		山住裕彦		
68	荒谷じつ子、市原卓、岩瀬順郊、宇田貞子、				
	大石博司、大石康博、佐野川好母、鈴木昭夫、				
	瀬口寿一郎、瀬堂川徹、塚本浩司、吉崎英輔				
67	朝倉勇、遠藤一彦、小倉牧夫、川上剛二、	75	安達嗣雄、井出辰一郎、今田肇、小栗悠嗣、		
	樽松晋、児島英男、鈴木敏行、福原亨一、		勝間田武司、勝亦正安、川面忠男、笹尾光彦、		
	増田安国、向井久和		佐藤修二、城之内一成、福地茂樹、本多幸吉、		
	増田安国、向井久和		村松友視、柳澤弥太郎		
66	大坪信之、菊田聰裕、仲野道雄、中村伸吾、	74	井出宏嗣、大嶽隆司、角谷治子、佐藤薫郷、		
	原野谷朋司、藤原朝則、増井和夫、村松武司、		佐藤鐘司、西村泰一、萩原茂春、藤原經史、		
	茂木爲男		細川紀子、望月保、森田史雄		
64 63 62 61 60	稲森慎二、清水照彦、福地益人	73	大木茂、大村康平、後藤孝子、杉山光、		
	香川一郎、寺尾壽夫		鈴木聰男、鈴木豊、鈴木良明、高橋美智子、		
	福岡純一郎、横井一		遠山敦子、豊田智子、仲川信正、中西宏幸、		
	新井彰、遠藤榮、近藤博之、佐野旭、杉本哲、		松永烈、三浦英夫、山梨由記、渡辺雅俊		
	塚本光彦、村上喜代二		井出宏嗣、大嶽隆司、角谷治子、佐藤薫郷、		
	原善三郎、山本正三		佐藤鐘司、西村泰一、萩原茂春、藤原經史、		
59 58 57 55	上野広、小長井重雄、島村悟		細川紀子、望月保、森田史雄		
	青山勇、朝比奈正二、大塚恒、加藤恵一、		安達嗣雄、井出辰一郎、今田肇、小栗悠嗣、		
	狩野和男、酒井哲夫、勝呂清、高橋裕、		勝間田武司、勝亦正安、川面忠男、笹尾光彦、		
	田澤義彦、福地彊、本田豊		佐藤修二、城之内一成、福地茂樹、本多幸吉、		
	原善三郎、山本正三		村松友視、柳澤弥太郎		
	稲森慎二、清水照彦、福地益人		青島大太郎、池田哲郎、國保能彦、坂内三容、		
	香川一郎、寺尾壽夫		清水澄夫、杉山貢、鈴木與平、高田忠敬、		
	福岡純一郎、横井一		田口紘一、田村充、塚本平二、山崎文徳、		
	新井彰、遠藤榮、近藤博之、佐野旭、杉本哲、		山住裕彦		
	塚本光彦、村上喜代二		青木三郎、安達忠良、石橋三洋、石間啓一、		
	原善三郎、山本正三		石山建一、伊藤達雄、岩崎敏宏、梅屋尚子、		
	稲森慎二、清水照彦、福地益人		大岩蓮、勝間田正喜、栗田收司、後藤嘉代、		
	香川一郎、寺尾壽夫		小長井奎幸、佐藤昌男、清水雅尚、中川素子、		
	福岡純一郎、横井一		中村邦彦、仁科光司、野方重人、袴田共之、		
	新井彰、遠藤榮、近藤博之、佐野旭、杉本哲、				
	塚本光彦、村上喜代二				
	原善三郎、山本正三				
	稲森慎二、清水照彦、福地益人				
	香川一郎、寺尾壽夫				
	福岡純一郎、横井一				
	新井彰、遠藤榮、近藤博之、佐野旭、杉本哲、				
	塚本光彦、村上喜代二				
	原善三郎、山本正三				
	稲森慎二、清水照彦、福地益人				
	香川一郎、寺尾壽夫				
	福岡純一郎、横井一				
	新井彰、遠藤榮、近藤博之、佐野旭、杉本哲、				
	塚本光彦、村上喜代二				
	原善三郎、山本正三				
	稲森慎二、清水照彦、福地益人				
	香川一郎、寺尾壽夫				
	福岡純一郎、横井一				
	新井彰、遠藤榮、近藤博之、佐野旭、杉本哲、				
	塚本光彦、村上喜代二				
	原善三郎、山本正三				
	稲森慎二、清水照彦、福地益人				
	香川一郎、寺尾壽夫				
	福岡純一郎、横井一				
	新井彰、遠藤榮、近藤博之、佐野旭、杉本哲、				
	塚本光彦、村上喜代二				
	原善三郎、山本正三				
	稲森慎二、清水照彦、福地益人				
	香川一郎、寺尾壽夫				
	福岡純一郎、横井一				
	新井彰、遠藤榮、近藤博之、佐野旭、杉本哲、				
	塚本光彦、村上喜代二				
	原善三郎、山本正三				
	稲森慎二、清水照彦、福地益人				
	香川一郎、寺尾壽夫				
	福岡純一郎、横井一				
	新井彰、遠藤榮、近藤博之、佐野旭、杉本哲、				
	塚本光彦、村上喜代二				
	原善三郎、山本正三				
	稲森慎二、清水照彦、福地益人				
	香川一郎、寺尾壽夫				
	福岡純一郎、横井一				
	新井彰、遠藤榮、近藤博之、佐野旭、杉本哲、				
	塚本光彦、村上喜代二				
	原善三郎、山本正三				
	稲森慎二、清水照彦、福地益人				
	香川一郎、寺尾壽夫				
	福岡純一郎、横井一				
	新井彰、遠藤榮、近藤博之、佐野旭、杉本哲、				
	塚本光彦、村上喜代二				
	原善三郎、山本正三				
	稲森慎二、清水照彦、福地益人				
	香川一郎、寺尾壽夫				
	福岡純一郎、横井一				
	新井彰、遠藤榮、近藤博之、佐野旭、杉本哲、				
	塚本光彦、村上喜代二				
	原善三郎、山本正三				
	稲森慎二、清水照彦、福地益人				
	香川一郎、寺尾壽夫				
	福岡純一郎、横井一				
	新井彰、遠藤榮、近藤博之、佐野旭、杉本哲、				
	塚本光彦、村上喜代二				
	原善三郎、山本正三				
	稲森慎二、清水照彦、福地益人				
	香川一郎、寺尾壽夫				
	福岡純一郎、横井一				
	新井彰、遠藤榮、近藤博之、佐野旭、杉本哲、				
	塚本光彦、村上喜代二				
	原善三郎、山本正三				
	稲森慎二、清水照彦、福地益人				
	香川一郎、寺尾壽夫				
	福岡純一郎、横井一				
	新井彰、遠藤榮、近藤博之、佐野旭、杉本哲、				
	塚本光彦、村上喜代二				
	原善三郎、山本正三				
	稲森慎二、清水照彦、福地益人				
	香川一郎、寺尾壽夫				
	福岡純一郎、横井一				
	新井彰、遠藤榮、近藤博之、佐野旭、杉本哲、				
	塚本光彦、村上喜代二				
	原善三郎、山本正三				
	稲森慎二、清水照彦、福地益人				
	香川一郎、寺尾壽夫				
	福岡純一郎、横井一				
	新井彰、遠藤榮、近藤博之、佐野旭、杉本哲、				
	塚本光彦、村上喜代二				
	原善三郎、山本正三				
	稲森慎二、清水照彦、福地益人				
	香川一郎、寺尾壽夫				
	福岡純一郎、横井一				
	新井彰、遠藤榮、近藤博之、佐野旭、杉本哲、				
	塚本光彦、村上喜代二				
	原善三郎、山本正三				
	稲森慎二、清水照彦、福地益人				
	香川一郎、寺尾壽夫				
	福岡純一郎、横井一				
	新井彰、遠藤榮、近藤博之、佐野旭、杉本哲、				
	塚本光彦、村上喜代二				
	原善三郎、山本正三				
	稲森慎二、清水照彦、福地益人				
	香川一郎、寺尾壽夫				
	福岡純一郎、横井一				
	新井彰、遠藤榮、近藤博之、佐野旭、杉本哲、				
	塚本光彦、村上喜代二				
	原善三郎、山本正三				
	稲森慎二、清水照彦、福地益人				
	香川一郎、寺尾壽夫				
	福岡純一郎、横井一				
	新井彰、遠藤榮、近藤博之、佐野旭、杉本哲、				
	塚本光彦、村上喜代二				
	原善三郎、山本正三				
	稲森慎二、清水照彦、福地益人				
	香川一郎、寺尾壽夫				
	福岡純一郎、横井一				
	新井彰、遠藤榮、近藤博之、佐野旭、杉本哲、				
	塚本光彦、村上喜代二				
	原善三郎、山本正三				
	稲森慎二、清水照彦、福地益人				
	香川一郎、寺尾壽夫				
	福岡純一郎、横井一				
	新井彰、遠藤榮、近藤博之、佐野旭、杉本哲、				
	塚本光彦、村上喜代二				
	原善三郎、山本正三				
	稲森慎二、清水照彦、福地益人				
	香川一郎、寺尾壽夫				
	福岡純一郎、横井一				
	新井彰、遠藤榮、近藤博之、佐野旭、杉本哲、				
	塚本光彦、村上喜代二				
	原善三郎、山本正三				
	稲森慎二、清水照彦、福地益人				
	香川一郎、寺尾壽夫				
	福岡純一郎、横井一				
	新井彰、遠藤榮、近藤博之、佐野旭、杉本哲、				
	塚本光彦、村上喜代二				
	原善三郎、山本正三				
	稲森慎二、清水照彦、福地益人				
	香川一郎、寺尾壽夫				
	福岡純一郎、横井一				
	新井彰、遠藤榮、近藤博之、佐野旭、杉本哲、				
	塚本光彦、村上喜代二				
	原善三郎、山本正三				
	稲森慎二、清水照彦、福地益人				
	香川一郎、寺尾壽夫				
	福岡純一郎、横井一				
	新井彰、遠藤榮、近藤博之、佐野旭、杉本哲、				
	塚本光彦、村上喜代二				
	原善三郎、山本正三				
	稲森慎二、清水照彦、福地益人				
	香川一郎、寺尾壽夫				
	福岡純一郎、横井一				
	新井彰、遠藤榮、近藤博之、佐野旭、杉本哲、				
	塚本光彦、村上喜代二				
	原善三郎、山本正三				
	稲森慎二、清水照彦、福地益人				
	香川一郎、寺尾壽夫				
	福岡純一郎、横井一				
	新井彰、遠藤榮、近藤博之、佐野旭、杉本哲、				
	塚本光彦、村上喜代二				
	原善三郎、山本正三				
	稲森慎二、清水照彦、福地益人				
	香川一郎、寺尾壽夫				
	福岡純一郎、横井一				
	新井彰、遠藤榮、近藤博之、佐野旭、杉本哲、				
	塚本光彦、村上喜代二				
	原善三郎、山本正三				
	稲森慎二、清水照彦、福地益人				
	香川一郎、寺尾壽夫				
	福岡純一郎、横井一				
	新井彰、遠藤榮、近藤博之、佐野旭、杉本哲、				
	塚本光彦、村上喜代二				
	原善三郎、山本正三				
	稲森慎二、清水照彦、福地益人				
	香川一郎、寺尾壽夫				
	福岡純一郎、横井一				
	新井彰、遠藤榮、近藤博之、佐野旭、杉本哲、				
	塚本光彦、村上喜代二				
	原善三郎、山本正三				
	稲森慎二、清水照彦、福地益人				
	香川一郎、寺尾壽夫				
	福岡純一郎、横井一				
	新井彰、遠藤榮、近藤博之、佐野旭、杉本哲、				
	塚本光彦、村上喜代二				
	原善三郎、山本正三				
	稲森慎二、清水照彦、福地益人				
	香川一郎、寺尾壽夫				
	福岡純一郎、横井一				
	新井彰、遠藤榮、近藤博之、佐野旭、杉本哲、				
	塚本光彦、村上喜代二				
	原善三郎、山本正三				
	稲森慎二、清水照彦、福地益人				
	香川一郎、寺尾壽夫				
	福岡純一郎、横井一				
	新井彰、遠藤榮、近藤博之、佐野旭、杉本哲、				
	塚本光彦、村上喜代二				
	原善三郎、山本正三				
	稲森慎二、清水照彦、福地益人				
	香川一郎、寺尾壽夫				
	福岡純一郎、横井一				
	新井彰、遠藤榮、近藤博之、佐野旭、杉本哲、				
	塚本光彦、村上喜代二				
	原善三郎、山本正三				
	稲森慎二、清水照彦、福地益人				
	香川一郎、寺尾壽夫				
	福岡純一郎、横井一				
	新井彰、遠藤榮、近藤博之、佐野旭、杉本哲、				
	塚本光彦、村上喜代二				
	原善三郎、山本正三				
	稲森慎二、清水照彦、福地益人				
	香川一郎、寺尾壽夫				
	福岡純一郎、横井一				
	新井彰、遠藤榮、近藤博之、佐野旭、杉本哲、				
	塚本光彦、村上喜代二				
	原善三郎、山本正三				
	稲森慎二、清水照彦、福地益人				
	香川一郎、寺尾壽夫				
	福岡純一郎、横井一				
	新井彰、遠藤榮、近藤博之、佐野旭、杉本哲、				
	塚本光彦、村上喜代二				
	原善三郎、山本正三				
	稲森慎二、清水照彦、福地益人				
	香川一郎、寺尾壽夫				
	福岡純一郎、横井一				
	新井彰、遠藤榮、近藤博之、佐野旭、杉本哲、				
	塚本光彦、村上喜代二				
	原善三郎、山本正三				
	稲森慎二、清水照彦、福地益人				
	香川一郎、寺尾壽夫				
	福岡純一郎、横井一				
	新井彰、遠藤榮、近藤博之、佐野旭、杉本哲、				
	塚本光彦、村上喜代二				
	原善三郎、山本正三				
	稲森慎二、清水照彦、福地益人				

- 94
青島正剛、石川雅英、稲葉宏、岩崎朝一、
野毛宏、渡辺晃一郎
- 93
岡村幸彦、小野泰洋、勝又健次、川辺亮、
佐野啓子、志賀浦伴昭、洪田亮太、高柳広之、
- 92
服部泰子、船越由美子、山川百合子
青木洋、阿部哲也、石川隆、稲葉繁、大津仁昭、
- 91
生田英一郎、伊藤義和、岩崎哲也、宇佐美恵子、
小原裕子、恩田侑布子、倉沢千明、栗山雅之、
小林廉毅、佐野靖宏、鈴木忠善、田村豊、
土崎弘子、伴野昌厚、中村未弓、原幸彦、
船木真由美、蒔田隆佳、三田村恵、村松秀明
浮田聡、日下淳、清水篤、田村真弓、永田俊介、
- 90
大村健二、栗山伸一、佐野雅明、清水美久、
下宮省吾、宗野和夫、深沢英昭、堀暢宏、
望月博之、森田悦三、山下雅子、米澤宣行
芦澤康夫、東昌子、渥美恭弘、天川由美、
- 89
池田磨佐人、海野秀之、北村美佐子、北村佳久、
多々良勝仁、中村昌義、平川慶子、堀弘明、
宮村啓路
- 88
塩沢潤、田中育恵、増田浩之、武藤一義、
矢部みはる、山田裕道
- 87
安倍敏陽、石神葉子、石川嘉和、石渡洋行、
泉洋子、木下攝、小長井一男、小林俊隆、
澤井良輔、高橋宏、坪内和人、林暁、足野幹男、
平岩正史、水上浩司、山本信也、横山文子
宇佐美博高、大村康二、奥田晃、近藤秀樹、
- 86
篠宮章、鈴木正俊、長島正、成岡和美、
野口ひろみ、野口洋亮、八牧暢行、湯山茂徳
青山隆一、江川彰子、児島賢、近藤孝邦、
松本隆史、三上嗣夫、望月光、安本敬、
山本政博

- 103
向田敏弘、山下史記
- 102
田村晋一、渡辺晃生
大村卓矢、大矢かおり、日下雄一郎、
- 101
夏目幸一郎
- 100
穴澤敦子、漆畑裕樹、大石智子、白井正博、
- 99
泉文子、稲葉克哉、川又竹男、鈴木芳信、
野元知子、馬場厚生、山下暢久
五十嵐寧、久保田明史、小西秀雄
- 98
相原圭一郎、浮島禎之、大石健二、見城寛、
古永家宏幸、佐野倫、鈴木由紀子、竹下裕能、
藤浪里佳、星野典子、村上孝子、室田真男、
山本浩志
- 97
安藤裕倫、石野務、大砂泰幸、岡村浩志、
小澤靖弘、窪田誠、甲田直美、櫻井のり子、
清水智人、杉田太志、鈴木康生、高林径子、
中沢京子、仁藤康雄、山来真木夫
- 96
青木伸、青木正樹、秋山信太、朝比奈正人、
芦野光憲、石田洋子、井上聡、海野仁志、
大澤理、栗原智、田形昭乃、辻田淳子、
中尾安志、細澤優、山本茂未、山元一
安藤裕倫、石野務、大砂泰幸、岡村浩志、
- 95
石垣克至、井上香里、上田洋平、牛見豊、
内田真理、太田洋行、大橋透、大棟順子、
岡部正明、加藤光俊、菊入弘行、菊入みゆき、
佐藤茂孝、曾根正裕、永江総宣、堀川和裕、
見原万智子、山本好久
青木伸、青木正樹、秋山信太、朝比奈正人、

《 振込用紙が無くても振り込めます 》

各銀行のインターネットバンキングサービスを日頃
ご利用の方は、以下口座までお願いします。

****ゆうちょダイレクト****

記号番号 **00220-9-9969**

****他の銀行からの振込用口座番号****

〇二九(ゼロニキュウ)店 当座 0009969

(ご利用の各金融機関サービスにより手数料が発生する場合もございます。)

120 119 115 114 113 112 110 109 107 106 105 104

草谷緑、萩原さほり、吉崎亜由美、吉田郁
山中彰人
梅屋崇、新間香織
安部啓、木本雅彦、小島太郎、竹田仁
小澤康裕、松永鋭太郎
鈴木健一郎、村山希子
市川徳二、加藤剛史
野木森明香
岩崎衣里子
土屋晴裕
青山亮介
芹澤敬介

関東同窓会は会員の
会費（年間 3,000 円）
で運営されております。
同窓生、同期生に
声を掛け合い、ご協力
をお願いします。

鈴 与 株 式 会 社

代表取締役会長 鈴木 与 平 (76期)

代表取締役社長 鈴木 健一郎 (110期)

〒424-8703 静岡市清水区入船町11-1

TEL 054 (354) 3015 (秘書室)

京浜支店 〒140-0013 東京都品川区南大井6-22-7

TEL 03 (6404) 2100

「何宗ですか?」「ハイ、皆之宗(みなのかみ)です!」

〜いざという時、頼りになるかかりつけのお寺〜

普 門 庵

臨済宗大徳寺派 住職 見城宗忠 (90期)

206-0801 東京都稲城市大丸 857

Tel : 042-378-1707 Fax:042-379-8647

URL : <http://www.fumon-an.jp>



建築・不動産活用、アート活動などのご相談はどうぞ

ArchitectS Office & Gallery

一級建築士 石川雅英 (94期)

若いクリエイターの支援活動をしています

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町 16-16

T 03 - 5847 - 7785

F 03 - 5847 - 7788

architectsoffice@cotton.ocn.ne.jp

www.rvstone.com

伊豆の旬



www.yanmo.co.jp

小林秀男 (97期)

<南青山> 東京都港区南青山5-5-25 T-PlaceビルB1

TEL:03-5466-0636 (日曜日のみ休)

<丸の内> 東京都千代田区丸の内3-3-1 新東京ビルB1

TEL:03-5224-3322 (定休日なし)

伊豆の旬

仕出し厨房

<大手町> 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビルB1

TEL:03-3278-7272 (土日祝定休)

同窓会で人の輪を!!

野方重人法律事務所

弁護士 野方重人 (77期)

〒101-0045 千代田区神田鍛冶町3-7-3

敷下ビル6F

(TEL) 03 (3251) 2348

(FAX) 03 (3257) 0820



激動世界! 正確な真相ニュースで「平和」に貢献

相談役・主筆 八牧浩行 (82期)

yamaki@recordchina.co.jp

本社 東京都港区新橋2-20-15 新橋駅前ビル1号館7F

TEL 03-3573-7501(代) FAX 03-3573-7503

相続税・法人税・所得税などのご相談はどうぞ!

鳥巢修税理士事務所

税理士 鳥巢 修 (89期)

OSAMU TOSU

〒167-0041 東京都杉並区善福寺1-30-17

TEL 03(3396)3858 FAX 03(3396)3848

E-mail : tosu@mtj.biglobe.ne.jp

* 昼2時より夜11時まで診療 *

医) 名泉会タカラ歯科診療所

代表 藁科名雄 (87期)

東横線 中目黒下車 徒歩5分

TEL 0120-376-480

FAX 03-3710-8847

〒153-0051 目黒区上目黒2-18-13

mail: jimbo20seiki@gmail.com



2階) ブックカフェ二十世紀

- アメコミ・海外コミック
(MARVEL&DC他 原書リーフ/TPB/ハードカバー、日本語版)
- 歴史・民俗・風俗・江戸・東京・食べ物
- 演劇・芸能/TV・音楽・落語・盛り場
- 絵本・児童書・漫画・雑誌・サブカル
- 思想・哲学・人文
- 明治文学・評論

SF、ミステリ、幻想と怪奇

(SF、ミステリ、推理小説
幻想・怪奇小説、ホラー & ファンタジー、評論他)

映画グッズ・関連品

(ポスター・パンフ・プレス・チラシ・写真他グッズ・書籍)

文学/人文系

(文学・評論他、岩波・ちくま・講談社学術文庫他)

昭和の芸能、スポーツ関連 (野球・相撲・プロレス)

その他サブカルチャー、書籍百般



@ワンダー (1階)

mail: wonder@atwonder.co.jp

書籍 家財 雑貨 等

買入れ・整理・片付け

お気軽に御相談下さい!

@ワンダー

フリーダイヤル

0120-154-727

店主 鈴木 宏 (91期)

101-0051 東京都千代田区神田神保町2-5-4 開拓社ビル 1・2F